

皇大神宮別宮

やまとひめのみや

倭姫宮

春の大祭

御鎮座百周年

令和5年

5月5日 祝

午前10時～午後1時30分（予定）

奉祝行事

神宮主催による
祭典・舞楽

子供用鯉のぼりの授与
(600本)

ワークショップ
竹灯り塗り絵

倭姫命に関する意見交換会
(神宮司庁広報室次長音羽悟様同席)

午前11時～（神宮徵古館2階会議室）

当日受付 入場者最大50人



午前10時～
祭典終了後

午前10時～
正午

御神酒の授与

午前8時30分～
祭典終了後

春の大祭俳句会

午前8時30分～
祭典終了後

奉賛会員には直会（紅白の餅）
の授与

午前8時30分～
祭典終了後

神宮徵古館の
無料拝観券の交付

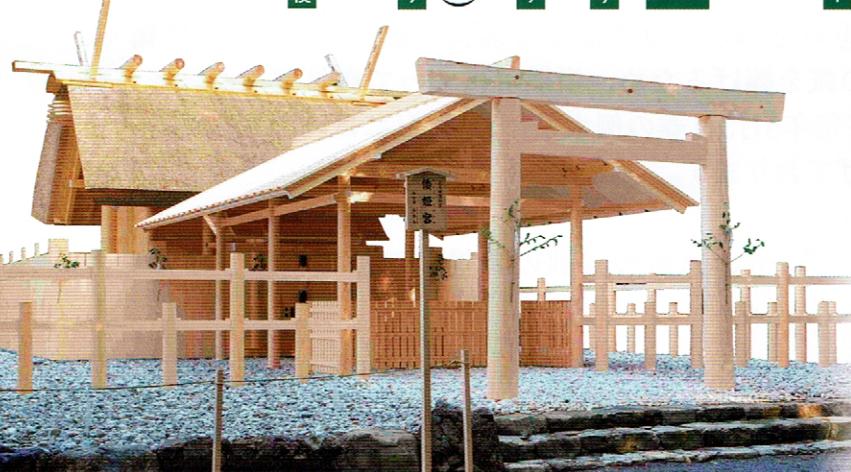
祭典終了後

祭典終了後

倭姫命さまは、二〇〇〇年前、内宮さま（天照大御神）を伊勢の地に御鎮座なされました。

倭姫宮は外宮さまと内宮さまの中間、倉田山に大正12年に皇大神宮別宮として御創建されました。

倭姫宮は伊勢市の開祖神として神宮と伊勢市民が、当時の宮内省と内務省にお願いし、お許しを得て建てられたお宮です。



[奉賛会のホームページ](#)

倭姫宮奉賛会

検索

倭姫宮御杖代奉賛会では、ホームページを開設しております。インターネットから倭姫宮奉賛会で検索していただき、是非ご覧ください。

お問い合わせは、奉賛会事務局まで ☎ 0596 (24) 3154

●主催／倭姫宮御杖代奉賛会

●後援／神宮司庁、伊勢市、伊勢商工会議所、(公社)伊勢市観光協会、(株)ZTV伊勢放送局

皇大神宮(内宮)の別宮『倭姫宮』

伊勢神宮内宮と外宮を結ぶ御幸道路の中ほどに、森の緑もあざやかな丘、倉田山があります。ここには神宮徵古館・農業館・美術館・神宮文庫・皇學館大学等があり、これに接する静寂な常緑の森の中に皇大神宮（内宮）の別宮倭姫宮があります。

倭姫命さまについて

祭神は、倭姫命で、天照大御神の御神教をうけて約二千年前に、五十鈴川の川上、現在の場所に皇大神宮を御創建されたお方です。

倭姫命は、第11代垂仁天皇の皇女です。第10代崇神天皇の皇女豊鍬入姫命の後を継いで「御杖代」として皇大御神に奉仕され、皇大御神を戴いて大和国を発ち、伊賀・近江・美濃等の諸国を経て伊勢の国に入られて、御神慮によって現在の地に皇大神宮を創建されました。

倭姫命は皇大神宮御鎮座の後、神嘗祭を始めとする年中の祭りを定め、神田並びに各種の御料品を奉る神領を選定し、櫛宜・大物忌以下の奉仕者の職掌を定め、斎戒や祓の法を示し、神宮所属の宮社を定められるなど神宮の祭祀と経営の規模を確立されました。

このように大きな御功績を残された命の御徳をお慕いして、大正の初年から神宮司庁と伊勢市民の総意をもって伊勢市（当時は宇治山田市 昭和30年1月伊勢市に改称）は、命を祭るお宮の創立を請願致しましたところ、大正10年1月4日、皇大神宮別宮として倭姫宮の創立許可がなされ、同12年11月5日に御鎮座祭が執り行われました。令和5年11月5日には、御鎮座100周年を迎えます。



倭姫宮御杖代奉贊会が出来たきっかけについて

ここ伊勢の地は神宮鎮座以来二千年の歴史を刻み、20年に一度の遷宮とその仕組みは、古来からの巧みな技術の伝承と日本人の原点であります。さらに自然・風土と共生する精神文化と伝統を先人たちにより、脈々と受け継がれてきたいわば心の癒し、聖地であります。

この聖なる地、伊勢をお拓き下された恵みを仰ぎ、命に寄せる崇敬と親愛の念は極めて篤く、昭和23年には御神徳を敬慕し、報恩感謝の誠を捧げるため、崇敬者によって御杖代講が結成されました。現在は倭姫宮御杖代奉贊会として毎年5月5日春の例大祭、11月5日には秋の例大祭を、その他の月の5日には月次祭を御奉仕申し上げております。

この倭姫命の御神徳を後世に伝えるためにも、同宮の崇敬の發揚に一層努めて参りたいと存じます。

倭姫宮御杖代奉贊会

「御杖代」とは…皇大御神の御杖となって、御神慮を体して仕えられるお方の意。

秋の例大祭時には、倭姫宮御鎮座百周年記念の奉祝行事を行います。